

福祉サービス第三者評価 放課後児童健全育成事業版報告書 基本情報

①第三者評価機関名

株式会社ウエルビー

②施設・事業所情報

名称：清瀬市立清瀬小第3学童クラブ	代表者氏名：主任 大坂 さやか	
所在地：東京都清瀬市中里5-624 コミュニティハウス1階	TEL：042-493-2555	
利用者数：50名		
〔施設・事業所の概要〕		
開設年月日：令和5年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ		
職員数	常勤職員：4名 非常勤職員：2名	
専門職員	（専門職の名称）	
	放課後児童支援員：4名	教諭：2名
	保育士：1名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	

③理念・基本方針

「理念」

- 「子ども」「保護者」「支援員」みんなが主役である。
- 子どもの発達段階に応じた主体的な遊びを通じて自主性、社会性、創造性を伸ばすことができるように支援をしていく
- 子どもを中心に保護者と支援員がともに考え、共有しながら一緒に子育てする場を運営する。
- 子どもが健やかに成長していくこと、異年齢の子どもたちや障害を持った子どもたちも一緒に生活し、どの子ども大切にされる育成をめざす。

「基本方針」

- ★子どもが自分の思いを出せる場であること。みんなが自分をさげすみながら成長し合える場所であること。
- ★子ども同士で楽しく過ごせるように、サポートする。支援員は縁の下の力持ち子ども同士が主体性を持てるように手助けをする。
- ★各家庭の育児方針を受け止める。これが正解という育児はありません。各家庭の育児方法に耳を傾ける。
- ★事故を未然に防ぐために安全管理を徹底する。子どもも保護者も事故や怪我の心配をしなくても良い環境を整える。

④施設・事業所の特徴的な取組

新設の学童として既存の学童の枠に捕らわれず、新しい形を子どもと共に創っていくスタンスを大切にしている。
ノートの利用方法を変え、指導員がより子どもと関われるようにしたり、上履きを撤廃して畳を導入する等、子どもたちにとってより、安心で、居心地の良い学童であるように日々、工夫やアイデアを出し合いながら実践している。
また、地元NPO法人のきよせろぼさんとの共同企画として性＝生教育の連続講座を開催する等、子育て支援を担う拠点として取り組みを進めている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間 2022年9月	
受審回数（前回の受審時期）	

⑥総評

◇特に評価の高い点

- 令和5年度からの新規開設に伴い、職員が一丸となって開設に向けての準備を行い、様々な取り組みを通じて、職員間で話し合いを続けながらより良い学童クラブを目指して準備を進めており、多少の混乱は生じたものの概ね順調な立ち上げが実現できたことは、管理者を始めとする職員一人ひとりの頑張りや法人の支援の成果であると評価できます。現在では子ども達や保護者との信頼関係が構築され、新規施設ならではの古い価値観やルールにとらわれず、子ども達と新しいものを作り上げていくスタンスが取られています。

◇改善を求められる点

- 令和5年度から開設した新規施設で、職員の配置や設備、備品、児童の受け入れが全て新規に行われたことから、当初の立ち上げ時には多少の混乱が生じたようにつながります。保護者アンケートの中では、4月、5月は連絡帳を書いても返事が頂けなかったとの声が挙がっております。また、新規開設に伴い子ども達や保護者との信頼関係の構築、学校との連携や清瀬第1、第2学童クラブとの連携、また、地域や関係機関との連携が求められます。さらに、設備面では屋外の照明がないことから、夜間帯が暗く防犯上も支障があることから行政に対しての改善要請が望まれます。